

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	病院局
	政策	心身ともに健康に暮らせる社会の実現		課(室)名	附属医療施設整備室
	施策	医療体制の充実		電話番号	087-893-0031
	取組方針	市立病院の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	(企業会計) 附属医療施設(塩江分院) 整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	<p>「高松市民病院と香川診療所を移転統合した新病院を整備し、塩江分院をその附属医療施設とする。」という基本方針に基づき、市立3病院を統合・再編する。 新病院は、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、急性期医療及び地域包括ケアの後方支援機能を担う「高松市立みんなの病院」として整備を行った。 附属医療施設は、みんなの病院との機能分化・連携強化の下、塩江地区の地域包括ケアシステムの構築に貢献できる無床の診療所に整備する。</p>				
年度概要	実施設計 アスベスト調査 不動産鑑定評価				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	5-	関連根拠法令	第7次高松市総合計画(令和6～13年度)

【事業の目的】

対象(何を)	附属医療施設
意図(どのような状態にしたいか)	附属医療施設をできる限り早期に整備する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
附属医療施設単年度整備率	%	0	0	0	0.2	61.1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		附属医療施設整備進捗率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0.2
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	塩江道の駅エリア整備事業として地域振興施設と一体的に整備する方針であったが、工事の入札不調等により開業時期の延期リスクが生じたことから令和6年度に附属医療施設の整備方針を見直したため、令和6年度の目標値は設定できない。							
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	41,867	94,313	26,944	46,825
(事業費)	[千円]	23,239	75,639	0	17,736
(職員人件費)	[千円]	18,628	18,674	26,944	29,089

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	医療システム構築検討 医療機器・什器整備検討	0千円 0千円	総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度	実施設計 アスベスト調査 不動産鑑定評価	15,500千円 1,540千円 696千円	総額	17,736	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	14,100
				他	1,866
			一般財源	1,770	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	28 / 30 (93%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

塩江道の駅エリア整備事業として地域振興施設と一体的に整備する方針であったが、工事の入札不調等により開業時期の延期リスクが生じたことから、附属医療施設の整備方針を見直した。また、医療システムの構築及び医療機器・什器整備の検討を行った。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

塩江分院敷地内の塩江地域保健活動センターを全面改修し、早期かつ確実に整備を進める。